

1. 科目名 (単位数)	ジェンダー論 (2 単位)	3. 科目番号	GELA1331
2. 授業担当教員	飯島 和美		
4. 授業形態	講義、演習 (グループワーク含む)	5. 開講学期	春期 (池袋) 秋期 (王子)
6. 履修条件・他科目との関係	ジェンダーの問題に関心があること		
7. 講義	<p>「女は家庭のなかで子育てをすることに向いている」とか「男は外で仕事をする公司向いている」といった「女らしさ」や「男らしさ」は、長い間、身体の仕組みや本能などの生物学的要因によって決定されるものだと考えられてきた。しかし、20 世紀の後半から、「女らしさ」「男らしさ」の区別は、社会的・文化的要因と深く関係していると考えられるようになった。「ジェンダー」とは、「当該社会において社会的・文化的に形成された性別や性差についての知識」であり、性別を男女に二分し、かつ、男女に非対等に資源を配分する社会構造・秩序を意味するものである。本講義では、「ジェンダー」という言葉の意味を理解した上で、現代社会の様々な社会現象・社会問題に対して、「ジェンダー」の観点から関心を持ち、分析・考察し、表現する力を身につけると同時に、既存の社会構造の変革を通して目指されている“ジェンダー平等”な社会の姿を説明できるようになることを目指す。</p>		
8. 学習目標	<p>本講義の目的を達成するために、以下の3つの到達目標を設定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 「ジェンダー」の概念とその意義を理解した上で、わかりやすく説明することができる。 2) 現代社会における家族、労働、家事、育児、介護等の諸問題に内在する「ジェンダー」に関心を持ち、それぞれの課題について他の受講者の意見を尊重した上で議論することができる。 3) 本授業での学びの成果をもとに、「ジェンダー」の観点から、現代社会における様々な社会現象・社会問題を分析・考察し、自らの意見を適切な表現を用いて表現することができる。 4) 既存の社会構造の変革を通して目指されている“ジェンダー平等”な社会の姿を説明することができる。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>○授業への取組の深さと理解度を確認し、疑問や意見を届けてもらうため、毎回、授業の最後にリアクションペーパーの記入、提出を求める。</p> <p>○夏季休講期間中/冬季休校期間中に、課題資料を読んで考察したことを書きまとめるレポート課題を課す。教科書は使用せず、講義プリントと資料を提供する。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>参考書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内閣府男女共同参画局Webサイト 内閣府男女共同参画局 (gender.go.jp) ・内閣府男女共同参画局：令和4年度男女共同参画社会の形成の状況 現状偏。令和5年度男女共同参画白書 https://www.gender.go.jp/about_danjo/whitepaper/r05/zentai/pdf/r05_genjo.pdf…授業内に提供する ・内閣府男女共同参画局：令和4年度男女共同参画社会の形成の状況 特集偏。令和5年度男女共同参画白書 https://www.gender.go.jp/about_danjo/whitepaper/r05/zentai/pdf/r05_tokusyuu.pdf ・『#ボクらは誰も傷つけない「男らしさ」の謎を探る冒険』 ホワイトリボンキャンペーン・ジャパン (wrc.j.jp) …授業内に提供する ・大嶋栄子, 信田さよ子編：あたらしいジェンダースタディーズ：転換期を読み解く。金剛出版 2023 ・三橋順子：これからの時代を生き抜くためのジェンダー&セクシュアリティ論入門。辰巳出版 2023 ・日経サイエンス編集部編：性とジェンダー：誰もが生きやすい社会へ。日経サイエンス, 日本 BP マーケティング (発売) 2023 ・見上まり子：れんげ草の庭 一つの人生で人は生き直すことができる。内田伸子・見上まり子：虐待をこえて、生きる一負の連鎖を絶ち切る力。新曜社、第5章 (p.101~240) …授業内に提供する 		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ジェンダー」の概念とその意義を理解できたか。 ・現代社会に内在する「ジェンダー」の課題に関心を持ち、それに対する自らの意見を深めることができたか。 ・「ジェンダー」の観点から、現代社会における様々な社会現象・社会問題を分析、考察することができたか。 ・“ジェンダー平等”な社会像を説明することができたか。 <p>○評定の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平常点 (積極的参加度・授業態度・発表・発言等) 30% ・課題 (中間レポート・ワークシート等) 30% ・期末評価 (レポート・試験等) 40% 		
12. 受講生へのメッセージ	<p>女でも男でもそのほかでも、皆性別を帯びた存在であり、ジェンダーの当事者です。身近な経験・できごとから国際問題、社会問題まであらゆることながらジェンダーの視点から読み解き、これからの生き方・働き方、これからどういう社会をつかっていきたいかを自分ごととして一緒に考えましょう。</p>		
13. オフィスアワー	<p>授業の前後、E-mail : p-kaiijima@ed.tokyo-fukushi.ac.jp</p>		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・科目のオリエンテーション ・「ジェンダー」とは何か一二様の定義 	事前学習	令和4年度男女共同参画社会の形成の状況 現状偏 (令和5年度版男女共同参画白書) 第1分野の通読
		事後学習	ジェンダーとは何かについて振り返り、リアクションペーパーを作成、提出。

第2回	・戦後日本社会のジェンダー構造 ・“製造装置”としての性別分業①社会的労働と私生活労働の性別分業	事前学習	令和4年度男女共同参画社会の形成の状況現状偏(令和5年度版男女共同参画白書)第2分野の通読。
		事後学習	戦後日本社会のジェンダー構造と、その核である性別分業について振り返り、リアクションペーパーを作成、提出。
第3回	・“一次生産物”としての社会的力(社会資源)の男性偏在	事前学習	令和4年度男女共同参画社会の形成の状況現状偏(令和5年度版男女共同参画白書)第3分野の通読。
		事後学習	社会的力の男性偏在について振り返り、リアクションペーパーを作成、提出。
第4回	・二次生産物としての女性問題:女性に対する暴力を例に	事前学習	令和4年度男女共同参画社会の形成の状況現状偏(令和5年度版男女共同参画白書)第4分野の通読。
		事後学習	社会的力の男性偏在が女性問題を生むしくみについて振り返り、リアクションペーパーを作成、提出。
第5回	・家族内暴力①ドメスティック・バイオレンス(DV) — どういう問題か、配偶者間DVとデートDV、調査結果にみる被害/加害の実態	事前学習	令和4年度男女共同参画社会の形成の状況現状偏(令和5年度版男女共同参画白書)第5分野の通読
		事後学習	ドメスティック・バイオレンスがどういう問題であるのかを振り返り、リアクションペーパーを作成、提出。
第6回	・家族内暴力①ドメスティック・バイオレンス—法律・行政・社会的な対策、被害者の保護と回復支援	事前学習	ホワイトリボンキャンペーン・ジャパン『#僕らは誰も傷つけない「男らしさ」の謎を探る冒険』の通読。
		事後学習	DV被害者の保護と回復支援、予防のためのしくみについて振り返り、リアクションペーパーを作成、提出。
第7回	・家族内暴力②子ども虐待—どういった問題か、調査結果にみる被害実態	事前学習	見上まり子:第5章 れんげ草の庭 一つの人生で人は生き直すことができる。内田伸子・見上まり子:虐待をこえて生きる一負の連鎖を絶ち切る力。新曜社,2010,p.101-240の通読(資料は提供する)
		事後学習	子ども虐待がどういう問題であるのかを振り返り、リアクションペーパーを作成、提出。
第8回	・家族内暴力②子ども虐待—法律・行政・社会的な対策、被害児の保護と回復・発達支援、“欲求の溜め”	事前学習	見上まり子:第5章 れんげ草の庭 一つの人生で人は生き直すことができる。内田伸子・見上まり子:虐待をこえて生きる一負の連鎖を絶ち切る力。新曜社,2010,p.101-240の通読(資料は提供する)
		事後学習	“欲求の溜め”の作り直しを核とする虐待被害児の保護、回復・発達支援について振り返り、リアクションペーパーを作成、提出。
第9回	・ハラスメントについて—どういった問題か、日本におけるハラスメント概念の形成と問題史、防止と発生後の対応	事前学習	令和4年度男女共同参画社会の形成の状況現状偏(令和5年度版男女共同参画白書)第6分野の通読
		事後学習	ハラスメントについて—どういった問題かについて振り返り、リアクションペーパーを作成、提出。
第10回	・ケアとジェンダーケアと“ケア役割”、役割としてケアを担うということ、家事労働の女性偏在はなぜ問題か	事前学習	令和4年度男女共同参画社会の形成の状況現状偏(令和5年度版男女共同参画白書)第7分野・第8分野の通読
		事後学習	家事労働の女性偏在がなぜ問題なのかを振り返り、リアクションペーパーを作成、提出
第11回	・性別について公正な社会のすがた①—四次元の平等	事前学習	令和4年度男女共同参画社会の形成の状況現状偏(令和5年度版男女共同参画白書)第9分野の通読
		事後学習	実質的な機会の平等の確保について、リアクションペーパーに記入し、提出する。
第12回	・性別について公正な社会のすがた②—国連『女性に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約』1979、『男女共同参画社会基本法』1999に依拠して	事前学習	『女性に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約』、『男女共同参画社会基本法』の通読。
		事後学習	国際および国内の根拠法規のめざす社会像を振り返り、リアクションペーパーを作成、提出。

第13回	・性別にかかわらずワークライフバランスの実現	事前学習	令和4年度男女共同参画社会の形成の状況現状偏(令和5年度版男女共同参画白書)第10分野の通読
		事後学習	ワークライフバランスの実現について、リアクションペーパーに記入し、提出する。

第14回	・ワーク・ライフ・バランスとジェンダー	事前学習	『わたしたちはどこまでジェンダー平等を実現できたのか』の視聴。
		事後学習	講義を踏まえ、自身が将来、どのようなワーク・ライフ・バランスを採りたいかについて、リアクションペーパーを作成、提出。
第15回	・家事労働のゆくえ—4つの手段の組み合わせへ	事前学習	『危機の時代のジェンダー平等』の視聴。
		事後学習	講義を踏まえ、家事労働のゆくえについて、振り返り、リアクションペーパーを作成、提出。
期末試験			